



2009/10 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分地区 B

市原ロータリークラブ会報

第 2238 回例会 2009 年 11 月 12 日(木) SAA/加藤会員 会報担当/宮地会員
例会場五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 事務局 0438-38-3535



点鐘 市原 RC 会長 千葉精春 ソング 奉仕の理想

お客様 国際親善奨学生 丸島直己様

市原 RC 会長 千葉精春

会長挨拶



先週のライオン(株)千葉工場への職場訪問・見学はいかがでしたでしょうか。ご紹介いただいた宮地会員ならびに職業奉仕委員会の皆様にご挨拶いたします。

11 月はロータリー財団月間です。今日の卓話者として、当地区 2008-2009 年度国際親善奨学生(流山 RC 推薦)としてフランスに留学し、この 8 月に帰国した丸島直己様にお越し頂きました。

ロータリー財団プログラムについては皆さんご承知の通りですが、教育的 PG である国際親善奨学金は 62 年の歴史があり民間では世界最大の奨学金制度です。毎年全世界においてこの制度により 600~800 人が他国に留学し、現在までに 39,000 人を輩出し全世界にて活躍しています。緒方貞子さんもその一人です。帰国されますと学友となるわけですが皆さん優秀な素晴らしい方ばかりです。ロータリー財団への思いを今まで以上に馳せていただければと思います。

さて、本日は今年度の「地域社会貢献基金」の支援先に決まった 9 件の代表の方々に目録をお渡しすべくお越し頂きました。ロータリークラブの例会の雰囲気をご経験下さい。

幹事報告 幹事 泉水



NPO法人コミュニティー・フォーラム上総更級会より、事業活動のお知らせが来て居ります。

1. 第 3 回更級美術展 平成 21 年 12 月 9 日(水) - 43 日(日)
2. 第 27 回市民コンサート 12 月 13 日(日)
3. 上総更級美術館・常設館を新設

以上の資料をメールボックスに入れてありますので、どうぞご覧ください。

卓話 国際親善奨学生 丸島直己様



皆様こんにちは。ロータリー財団の国際親善奨学生、学友の丸島直己と申します。私は 08-09 年度、国際親善奨学生として、1 年間、フランス北部のルーアンという街に留学しておりました。日本での出身は千葉県の流山市(千葉県の北西部)で、そちらにある流山 RC のご推薦を頂く事で、この奨学生制度に応募し、留学を志しました。現在は、大学院の修士課程に在籍しております。専攻であるフランス語における言語学、特にフランス語の音声や発音の面に関する研究を行っております。

本日は、こちらの市原 RC にて卓話のために伺う事ができまして、大変嬉しく思っております。

私事ですが、私は流山市や、また野田市にて育ってまいりましたが、母方の実家が木更津市にありまして、市原には親戚が今も住んでおります。私がまだ小学校 3 年生のときに、一人で野田から電車に乗って 2 時間近く、親戚の家に遊びに行くという、初めて長い旅を経験したときの、最終到着駅が『八幡宿』の駅でした。あの時の初めての一人旅の緊張と、八幡宿に着いたときの安堵感は、今も鮮明に覚えております。私は 8 月の頭に、奨学生期間を無事 1 年間全うしまして、帰国致しました。今回はこのロータリーの奨学金制度の簡単なご紹介と、私の親善奨学生としての留学生活、また滞在していたフランスのロータリーについて、皆様にお伝えできればと思います。最初に、私が留学させていただいた、この奨学生制度について簡単のご紹介させていただきたいと思っております。このロータリー財団における親善奨学生制度は 1947 年発足以来、民間の奨学制度としては世界最大規模であるといわれております。各地区においてそれぞれ選考を行っておりまして、それに合格した学生は、凡そ 1 年または 2 年、留学先の教育機関において学問を修め、それとともに、現地のロータリー活動を通して、国際的、文化的交流を図る、というプログラムです。現地での RC 活動としては、出身国の文化面を伝播する目的での卓話が主に求められます。

私が留学した代は、私のほかに2人の奨学生がおりまして、私を含めて合計3名と、やや少なめの年でした。留学先については大変様々で、例年では主にアメリカやイギリスなどの英語圏へ向かう学生が多いのですが、私の代はフランス2人とフィンランド1人と、非英語圏の国々へも多く奨学生が向かっております。

ロータリーの奨学金制度はまた、その歴史の長さから、大変信頼性のある奨学金である、ということも知られております。よく聞く話として、この奨学金を受ける事によって、学生のビザの取りやすさが格段に違う、という話もあります。各留学先において、国に滞在許可を求めるビザを申請する必要があるのですが、他の私費留学生などに比べ、この親善奨学生であるという証明書をつけるだけで、ビザの審査に対する信頼性が全く変わる、ということが言われておりまして、その歴史による奨学金制度の信頼性を表しているのではないかと思います。

また、このように奨学金による援助を頂いたことに当たりまして、この奨学金の財源についても、少々触れさせていただきます。国際親善奨学生への援助金は、地区内のDDFと呼ばれます地区財団活動資金、というところから出されております。ロータリアンの皆様から寄せられた年次寄付の金額に、恒久基金の投資収益を足した金額、その半額が、これに当たります。これらを、各地区内において大きく4つの分野に分配しておりまして、人道的社会奉仕活動のための地区補助金、世界平和フェリーシップのホストエリア分担金、ポリオ2億ドルチャレンジの地区からの支援金と、そして本奨学金制度の支援金、というように分配されており、財源の一分野を占めることから、本奨学金制度が大変重要視されている、というように思われます。

続きまして、私が滞在中にフランスにおいて行ってきた内容について触れさせていただきます。私が滞在しておりましたルーアンという街なのですが、フランスの首都パリから北へ100キロほど離れた地域にあり、ノルマンディーと呼ばれる地区に位置しておりました。酪農が大変盛んな地域でして、カマンベールチーズなどの原産地としても知られております。

フランスにおいての滞在中は、そのルーアン市にあります3つクラブのうち、中心となっている「ルーアンロータリーRC」がホストクラブとなりました。クラブの会員数は90名以上と、フランス全土の中でもかなり大きいクラブでして、そちらの方の例会に定期的に参加し、また日本からの親善奨学生として卓話を行いました。また同様に、ルーアンのあるノルマンディー地区の地区大会へ参加し、奨学生としての紹介を行い、また近隣のロータリーRC3つにも出張しながら、日本や日本の文化、歴史に関する卓話を行って参りました。

現地にて日本について紹介したものとしまして、最初に日本のロータリーについて、千葉県2790地区の紹介や、私の出身である流山市の紹介、流山RCの紹介などを行いました。同様に、私自身が特にフランスに住むようになってから興味を持った側面の紹介としまして、フランスの教育面につきまして、フランスと比較しながら教育機関や制度の違いなどを発表いたしました。また別の機会には、日本の文化として、特に音楽面について、幾つかの楽曲を紹介しました。日本の国歌である「君が代」や、明治時代に西洋から、国民教育のために輸入されて、新たな名前をつけて取り入れられた楽曲として「蛍のひかり」、日本の代表的な作曲家の紹介として、滝廉太郎の「春」などを紹介いたしました。またその際、私は日本におりましたときから、私の住んでおります流山市の市民オーケストラにてホルンという金管楽器を演奏しておりました。そのことから、現地の例会に楽器を持参しまして、実際に演奏しながら音楽を紹介するという機会もいただきました。

また楽器を演奏すると言う事から、ルーアン市内の市民オーケストラに参加しまして、街の音楽活動にも積極的に参加しました。年齢や職業を超えて多くのフランス人の方々と接せられた事も、私の中では大変良い経験となっております。またその楽団の指揮者の先生が、現地の音楽院の先生なのですけれども、ルーアンロータリーと深い関わりのある方でした事もあり、ロータリークラブと共催で演奏会を開く事などもございました。

最後に学業の面では、現地の大学(ルーアン大学)の大学院修士課程に在籍しまして、私の専攻であるフランス語の言語学、特にフランス語の音声・発音面に関して研究を進めて参りました。現地のフランス人学生達と同様に講義を受け、テストを受け、最終的には専門の音声学についての論文を執筆、提出いたしました。ルーアン大学には私の専門分野において大変有名な先生が在籍しておりましたため、その先生に直接つき、指導を受ける事ができたことは、大変貴重な研究でした。現在ではフランスの大学院で学んできた事を生かしまして、日本人のフランス語学習者が発音するフランス語の特徴、いわゆる「日本人訛りのフランス語」といわれるものを研究し、これより修士論文を執筆する予定であります。

以上で、私のフランス生活の簡単なご紹介をさせていただきました。

最後になりましたが、何より、私にこのような機会を授けてくださったのは、この2790地区のロータリアンの皆様のお力添えであると強く感じております。最初に私が留学を志したのも、海外の学生と実際に肩を並べて、競い合って切磋琢磨して学んでみたい、という思いや、海外に出て、沢山のひとと触れ合う事で多文化への見地を広げていきたい、と思う事がきっかけでした。残念ながら大学在学中には、家庭の財政的な状況もあり、留学など夢のまた夢、といったもので、このロータリーのお力添えがなければ、とても1年間、海外に学びに行くなどという事はできませんでした。

更に、この日本やフランスにおいて、ロータリー活動を通じて多くの方と関わり、多くの方が私を暖かく受け入れてくださり、私は常に、ロータリーの暖かさに触れて日々を過ごしておりました。

今まで見る事ができなかったものを海外にて見て、学び、「育てて頂いた」という感情を強く持っております。

この一年間で学び、体験し、持ち帰ってきた全てのものを、これから広めていくと共に、今後の自らの人生の中で更に発展させていけるよう、これからも頑張ってお参りたいと思います。

本日は真に、ありがとうございました。

社会奉仕委員会 市原ロータリークラブ 2009-2010 年度 「地域社会貢献基金」 支援事業		
いちようコース(300,000 円)		
music カルテット “未 miku 来” 代表者 松本雅代様 「自主コンサート、音楽を通して地域・社会文化活動に尽力」		補助金額 300,000 円
NPO 法人コミュニティ・フォーラム上総更級会 代表者 理事長 常泉健一様 「地方自治体や企業、地域住民と共に、創造的文化的な地域作り推進に寄与。 学校支援事業として、出前講座を実施」		補助金額 100,000 円 (申請 300,000 円)
こすもすコース(100,000 円)		
ハーモニカと童謡 代表 佐藤文衛様 一人でハーモニカ演奏		補助金額 50,000 円 (申請 300,000 円)
市原市男女共同参画の会 代表 岸本静江様 男女共同参画の意識啓発幼児期、青少年期からの家庭教育、社会教育の問題 活動		補助金額 100,000 円
市原わん・にゃん会 代表 吉田聖知恵様 捨て猫・捨て犬の保護、里親探し		補助金額 100,000 円
市原の民謡を語る「どんぐり座」代表 瀧本平八様 市原古老たち伝承の漁村、農村、山村民謡の語りべ		補助金額 100,000 円
Satoyama よくし隊 代表 鈴木幹夫様 里山整備事業、竹林保護		補助金額 100,000 円
風呂の前風山保存会 代表 中山ミヨ子様 市原の自然保全、里山再生、カタクリの花の保護		補助金額 98,320 円 (申請 100,000 円)
たけのこくらぶ 代表 山本やす様 未就園児と母親の会		補助金額 50,000 円

ニコニコ・ソーラー

千葉会長・泉水幹事

丸島様卓話有難うございました。地域社会貢献基金の方々本日はお忙しい所有難うございました

NPO 法人更科会 阿部信治様、小池清様

この度地域社会基金を頂き誠に有難うございました。小学生、中学生に本物の話や、楽器を使っての音楽を学び健全育成に役立ててまいります。理事長 常泉健一からのお礼を代弁いたします。

誕生祝い: 万崎会員

結婚祝い: 赤星会員・深川会員・上条会員・菊池会員・増田会員・岡本会員・佐藤 勇会員

出席報告

前々回 80% 本日出席 33名 欠席 12名 本日出席率 73.3%